

くらしの目線で市政を変える

こんにちは
日本共産党

市会議員 西野さち子です



安倍内閣は いますぐ 原発ゼロの政治決断を!!



3500人の熱気があふれた
円山音楽堂。伏見のパレードには西野市議もお孫さんと参加。元気に歩きました。

「原発いらない」と様々な楽器を鳴らしながらパレードをしました。西野さち子市議も伏見の皆さんとともに参加しました。



3. 11の東日本大震災・福島原発事故から2年になります。3月9日に円山公園では、団体や個人が思い思いの形で反原発の思いを発信しておられました。メイン会場の円山音楽堂には3500人の参加者であふれました。辛淑玉さんの講演や市民団体「グリーン・アクション」のアイリーン美緒子スミスさんなど多彩な方々が発言。

市役所まで「金より命。子どもを守

バイバイ原発せよと 円山公園に3500人! 草の根から多彩な企画、集会とパレードも

東部クリーンセンター跡地は 市民のために活用しましょう



すでに焼却炉が止まり、横にある余熱利用センターは改修工事のため休止しています。京都市は利用しなくなった土地は売却の方針です。しかし、クリーンセンター跡地は市民の財産です。市民のために活用すべきです。広い敷地は行政がその気になれば多彩な活用方法があります。なにがなんでも「売却ありき」では困ります。

実際に地域を歩くと市民の皆さんから多様な願いが寄せられます。「高齢者施設等の福祉施設」「小さな子どもも安心して遊べる運動公園」「自然エネルギーの体験学習ができる施設」などなど、さまざまな声が出されています。この声を京都市に届けましょう!ぜひ願いをお聞かせ下さい。



「クリーンセンター跡地は市民のために活用を」の声が広がっています

2月議会(予算議会)が終わりました

市政報告

今議会の特徴は値上げ値上げのオンパレードということです。水道料金の値上げから保育料の値上げ、市営墓地の値上げまでゆりかごから墓場までの値上げです。その一方で来年度の予算案に計上された焼却灰溶解炉関連の予算は7カ月分でも27億円を上回ります。日本共産党市会議員団は「国の交付金を活用すれば水道料金の値上げは必要ない」と提案しましたが、市長は聞く耳を持ちませんでした。西野市議は「福島からの避難者支援を3年で切り捨てるので

はなく、国に支援の延長を求めると同時に京都市独自の支援をするよう」強く求めました。古くなった橋の耐震改修や外環の振動被害の軽減策を求めました。また、市営住宅の改善を求める請願が審査されました。請願内容は①浴槽が高くて高齢者が入りにくいので低くしてほしい。②シャワーをつけてほしい。③中で倒れても戸が開けられるよう折りたたみ式にしてほしいなど当たり前の願いです。西野市議は、「入居者の安全と安心に京都市が責任を持つべきではないか」と質問しました。共産党以外の議員は一言も質問をしないで、たった1回の審査で不採択(否決)するという無責任さでした。

